



## きょうまくえん 強膜炎



傷つけた記憶がないのに、目の充血と**痛み**があり、眼脂よりは痛みが前面に出てくる場合、結膜炎よりは強膜炎を疑います。

強膜炎は原因不明の場合が多いですが、関節リウマチ・多発血管性肉芽腫症や再発性多発性軟骨炎などの**膠原病との関り**がある場合も多いです。局所的な治療から状態によっては、全身的な治療が必要になりますが、治療の主役は**副腎皮質ステロイドによる消炎**です。点眼だけで改善が得られる軽度なものから、内服薬を併用しなければならない重症なものまであります。全身検査が必要な場合もあり、その際は総合病院や専門病院での他科連携も必要になってきます。治療期間は、ふつうの結膜炎よりは大分長くなります。

## 先天梅毒の話

梅毒だなんて、眼科で性病の話ができるのかと思われる方もいますが、数年前から梅毒感染者数が増加していることが報告されております。

眼科領域で特に問題になるのは、**先天梅毒**と言われるもので、梅毒に感染した妊婦から**胎児に感染**することがあります。最近増加してきており、日本全体で年間20例位の先天梅毒の報告があります。

眼合併症としては、**角膜実質炎、網脈絡膜炎、ぶどう膜炎、視神経委縮**などの報告があります。妊娠すると必ず梅毒の検査をやりますが、早期に発見して、抗菌剤の治療をすることで、発症を防ぐことができます。最近では特に20代女性の感染者が増えており、梅毒患者の増加に伴う、先天梅毒の増加が懸念されます。

## 梅毒感染者数

